

第23回 ちゅうでん教育振興助成（2023年度）

小・中学校の部 報告書資料

学校名・団体名	戸田市立美女木小学校
コース	学校支援コース
活動・研究のテーマ	個人探究への挑戦 ～体験的 PBL プログラムの実施～

〈活動・研究の意義および活動報告〉

1. 活動に至るまでの経緯

本校は『2030年代の社会で活躍できる人材の育成』をめざし、対話を通じた教員の個別最適な学びを核とした授業改革を行っている。その中で、予測不可能な未来社会にあっても、自ら学び続け、たくましく生きるための資質・能力を育成するために、実社会につながるPBLの実践研究を行っており。民間企業や地域人材を活用し、子供たちの学びを社会につなげている。昨年度は、5・6年生を中心にARやVR等の最新テクノロジーを学び、それらを活かした課題解決方法を作るようなプロジェクトも数多く立ち上がった。

今年度は、“好きは全ての原動力”をテーマに、5年生を中心に個人探究学習に挑戦した。

2. 活動内容

- (1) 対象者 ①5年生（119名）
- (2) 教科 ①総合的な学習の時間
- (3) ねらい “好き”から始める、自ら学ぶ児童の育成
- (4) 活動の特色

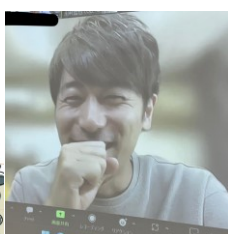
本校の今年度の取組として

- a) 2030年代の社会を見据えた、実社会につながる学びの実践研究
- b) 企業の方を招聘し、児童発表（個人探究の中間/最終）へのフィードバックを実施する。

(5) 活動時期および内容

1年を通して、個人探究の授業を進めてきた。特徴のある活動を以下に掲載する。

教員向け探究学習研修会（9月6日）



・京都で個人探究の塾を展開している株式会社 COLEYO の川村哲也氏を招聘し、『個人探究』に関する教職員向け研修会を実施した。

個人探究 中間発表会（10月11日）



・恐竜、パンケーキ、サッカー、野球、静かな空間をつくりたい、キャンプなど、様々なテーマがあり、それぞれが canva を用い中間発表を実施した。「静かな空間をつくりたい」については、クラスメイト・担任・教頭・校長へのプレゼンを実施後、パーティションと個人用ブースを購入し教室での運用を開始した。

パンケーキ 保護者向け試食会 (11月17日)



・自分たちで工夫して作ったパンケーキを、保護者や地域の方に試食していただき、普段から料理をしている方々からフィードバックをいただきました。
「中身はフワフワしているけれど、表面がもう少しフワフワになるといいよね。」など、具体的なフィードバックをいただきました。

教員の学び報告会「シェアタイム」(12月18日)



・本校では、教員の個別最適な学びを研修として、行っている。「自由進捗学習」「PBL」「哲学対話」「個人探究」など、自分の学んだことを他の教員へ共有する機会として「シェアタイム」を実施している。

戸田市小・中学校児童生徒プレゼンテーション大会 (1月27日)

after 速さ

ラブ♡ダイナソー アロサウルス
戸田市立美女木小学校

3000以上!

「想像上のおあそびだ」

5年生 探究学習 テーマ「恐竜」

是非、のぞいてみてね。

・恐竜好きな児童が、恐竜本来の魅力が伝わるゲームを作ろうと探究学習を進めた。その過程で、大学教授や博物館の研究員の方々へのインタビューを行った。骨格から恐竜ごとの「速さ」や「力強さ」などのステータスを独自に分析し恐竜の強さを数値化した。
そのステータスを活用し、スクラッチを使ってゲームを完成させた。

管理栄養士・保護者・地域・クラスメイト向け試食会 (2月6日)



・パンケーキ、スイートポテト、ブラウニーを探究してきた児童が、管理栄養士、保護者、地域の中学生、クラスの友達を対象に試食会を実施し、フィードバックをいただきました。

3. 今年度の成果

本校ではこれまで、数名がチームになって課題を解決していく PBL が主流であった。今年度は、個人の思いにフォーカスするために個人探究に挑戦した。その結果、問いに対して主体的に答えを探そうとする児童が増えた。しかし、児童の学習が細分化するため、教員の見取りが難しく、大学生や地域の方などをメンターとして協力していただく必要性を強く感じた。